

スタンダードデッキ用

ナーラ屋根

●この説明書は施工完了後、施主様へお渡しください。

■施工される方へのお願い

警告

■躯体への固定

- 躯体に付けずに独立で取り付けることは絶対にしないでください。
- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。
- タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定

- 組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬよう確実に締め付けてください。

■施工時の足場について

- バルコ屋根の施工時はしっかりとした足場を設け、転落などの危険がないよう充分注意してください。
- 取付け時は、野縁と垂木以外のところにはのらないでください。

ナーラ屋根600タイプは積雪30cm以下の地域でご使用ください。

注意

■絶縁処理について

- アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。
- 波板はJIS製品をご使用ください。

■施主様へのお願い

警告

- 電灯線などの電線をフレームに巻きつけないでください。漏電するおそれがあります。
- 積雪時には、危険ですので下記積雪量を基準に雪下ろしをしてください。
ナーラ屋根600タイプ……積雪20cm以下
※雪下ろしなどで屋根に上がる場合、前枠・垂木・野縁以外には絶対にのらないでください。
- 風当たりの強いところではテラスの周囲を囲わないでください。風が抜けなくなり破損のおそれがあります。

お手入れ・問い合わせ先について

【建物の立地条件と清掃回数】

- 腐食の防止には定期清掃が一番です。簡単な水洗いだけでサビは防げます。定期的に年1～2回程度水洗いし、空ぶきするだけでぐんと長持ちします。汚れの特にひどい工業地帯、海岸のすぐそばなどでは清掃回数を増やしてください。
- アルミニウム表面の保護膜に傷を付けますと、腐食を早めます。清掃には布やスポンジなどの柔らかいものをご使用ください。金属製ブラシや金ペラは絶対に使用しないでください。
- 洗剤は中性のものだけをご使用ください。酸性やアルカリ性のものはアルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。
軽い場合………水で濡らした雑巾でふきます。
ひどい場合………中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後、洗剤が残らないように水洗いし、空ぶきします。
著しく腐食しサビがでた場合、中性洗剤を付けたナイロンたわし又は、目の細かい紙ヤスリで部分的に軽くこすり、汚れやサビを取り除いた後、水洗いし、塗料のはげた部分にスプレー塗料で補修してください。
スプレー塗料は、サンクラッチ商会のナックルスプレー等が適しています。
ブロンズ…No.5ブロンズ
ホワイト…No.1ホワイト

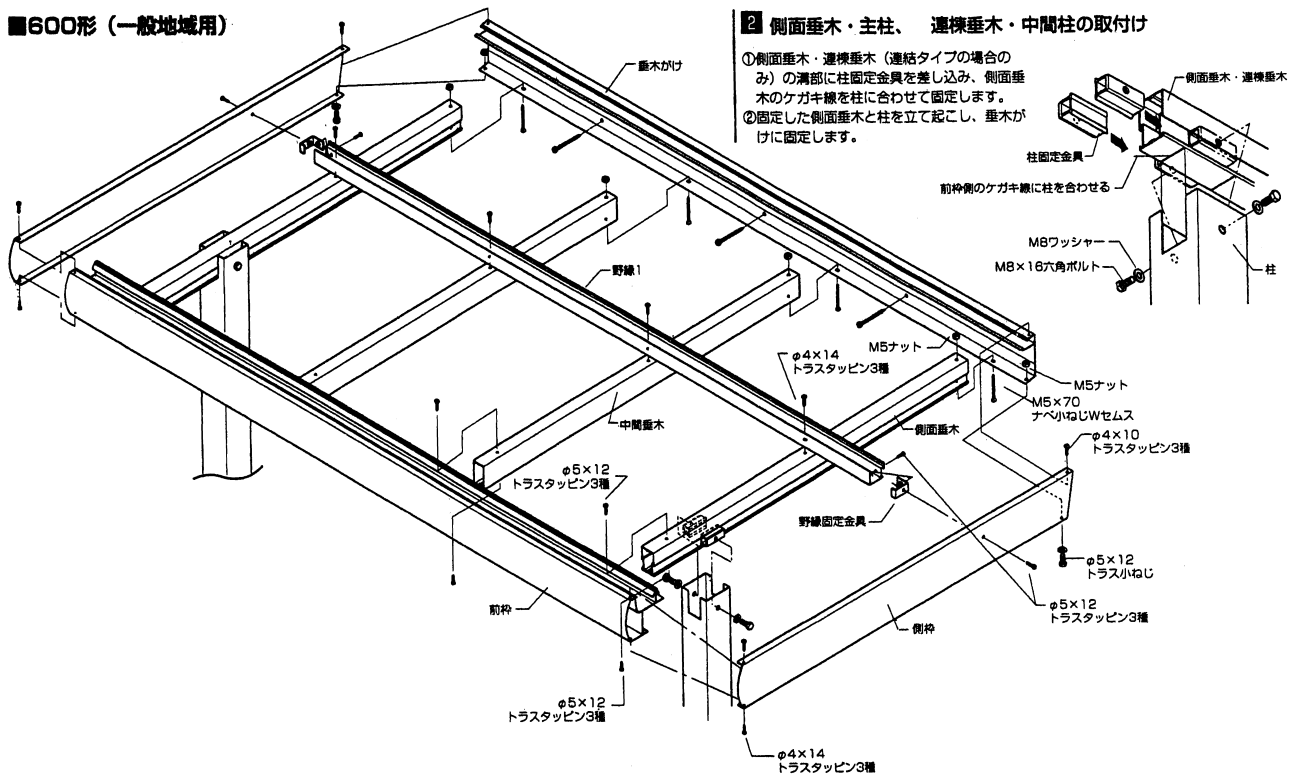
■建物の立地条件と清掃回数

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	年1～2回
海岸・工業地帯	年1回
市街地	年0.5回～1回
田園地帯	年0.5回

- 落葉などで雨樋が詰まることがありますので、時々取り除いてください。
- 古くなった屋根パネルは早めに取り換えてください。強風その他の衝撃を受け、破損のおそれがあります。
- 部品が必要な場合、または製品についてのお問い合わせは、最寄りのTOEX取扱い店、または弊社支店・営業所にお問い合わせいたします。
- 波板の耐用年数は、ガラス繊維入、塩化ビニール製とポリカーボネート製では多少異なりますが、波板の端部や固定穴の周辺に亀裂が生ずる等老化してきた場合はただちに交換してください。
- 波板の取換え時に使用する波板止めフック（波板固定用）やその他の部品が必要な場合、または製品についてのお問い合わせは、最寄りのTOEX取扱い店、または弊社支店・営業所にお問い合わせいたします。

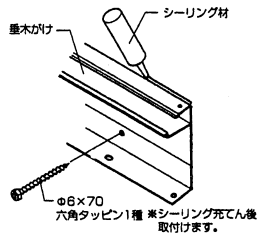
-600タイプ-(一般地域用)

■600形 (一般地域用)



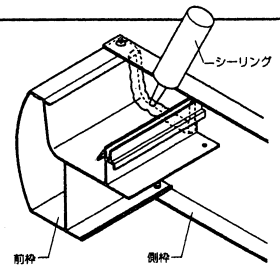
1 垂木がけの取付け

①垂木がけを躯体に取り付ける際、必ず水準器で水平を出してください。
※垂木がけは必ず、躯体の柱・間柱などの構造材に取り付けてください。
※躯体が、経年変化などで、損傷が著しい場合は、施工者と十分打ち合わせをし、必要に応じて補修してから取り付けてください。

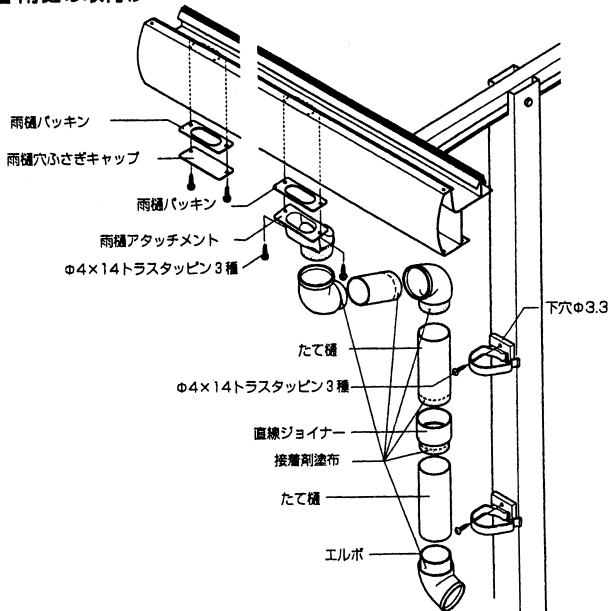


3 前枠・中間垂木・野縁・側枠の取付け

①側面垂木に前枠を取り付けます。
②垂木がけと、前枠に、中間垂木を取り付けます。
③屋根部の対角寸法を測定してください。
野縁に、野縁固定金具を取り付けた後、前枠・野縁・垂木がけと側枠を固定します。
※前枠、側枠ジョイント部は、十分にシーリングしてください。

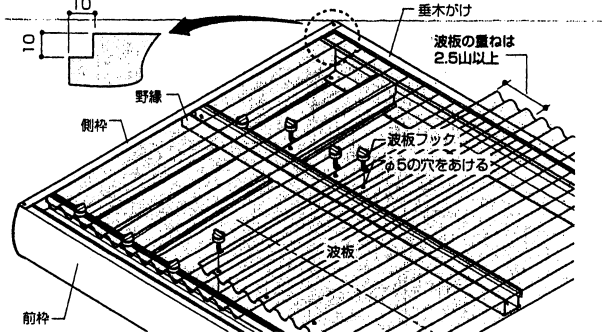


4 雨樋の取付け



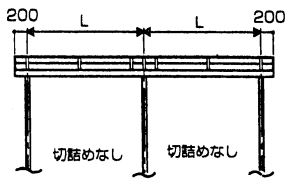
5 波板の取付け

※波板1枚につき、フックは4列止めにしてください。
●テラス両端の波板の垂木がけコーナー部は、下の寸法で切り欠いてください。



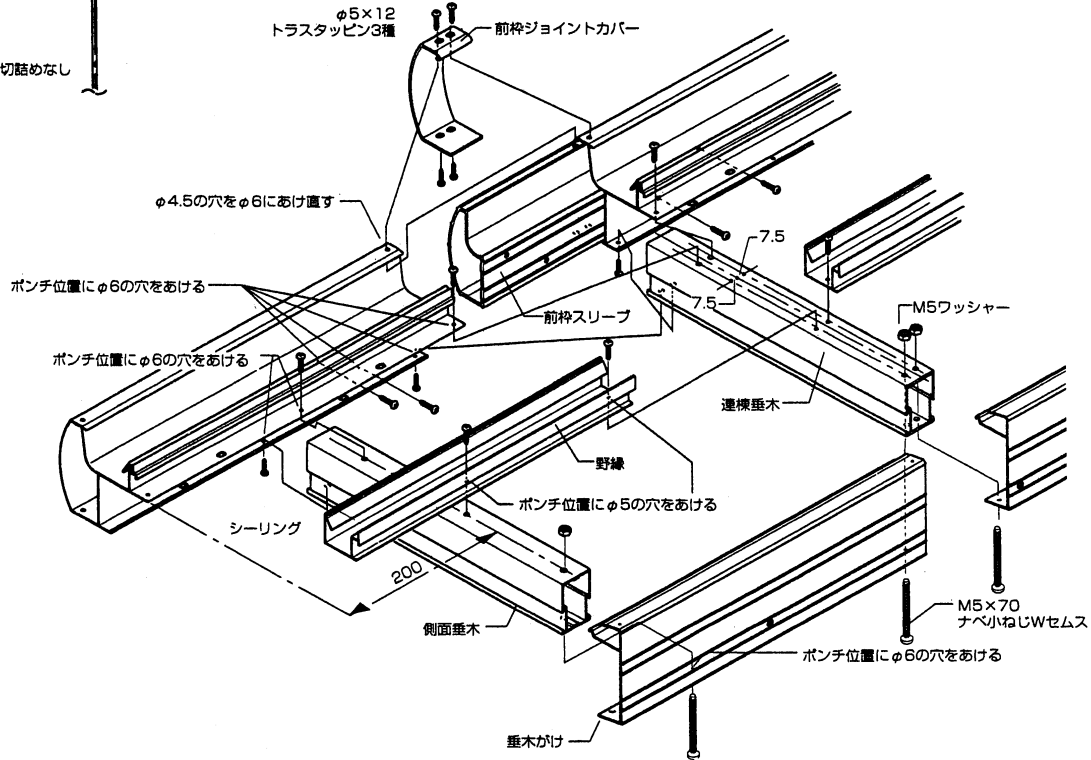
一連続タイプの場合

2連結タイプの場合

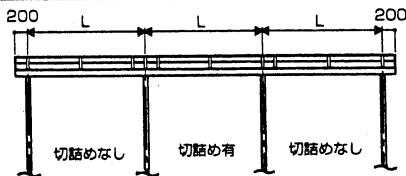


●600形

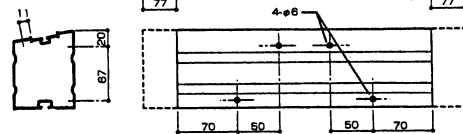
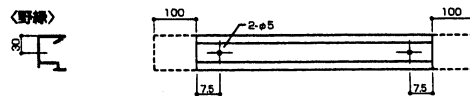
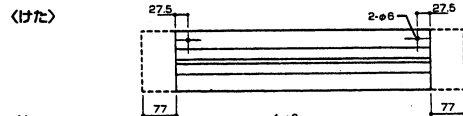
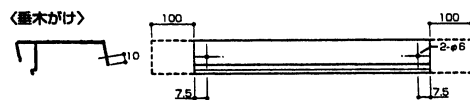
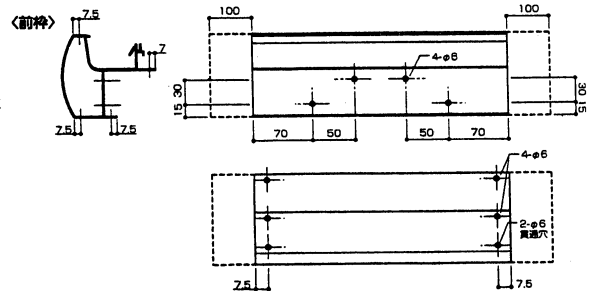
- 2連結の場合、部材の切断は不要です。
- 長さ部材（前枠・野縁・垂木がけ）の両端のポンチ部分を穴加工して組み立てます。
- その他の組立てについては標準タイプと同様に行ってください。



3連結タイプの場合

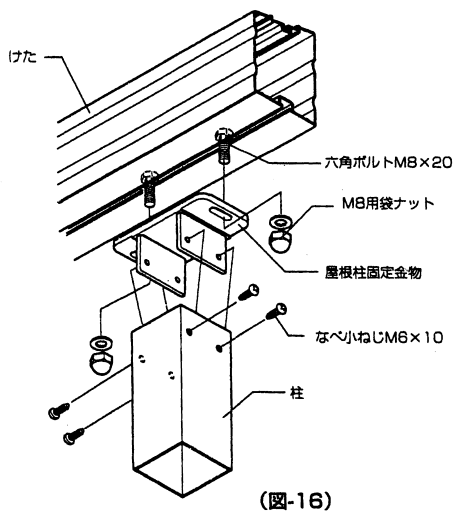


- 3連結の場合、中間連結の長さ部材（前枠、垂木がけ、野縁）の両端を100mm、けたは77mm切断します。次に、両端部に右図のように加工を行ってください。
- 連結部分の組立ては、2連結と同様に行ってください。
- 3連結する場合、J1Sラベルをはがしてください。

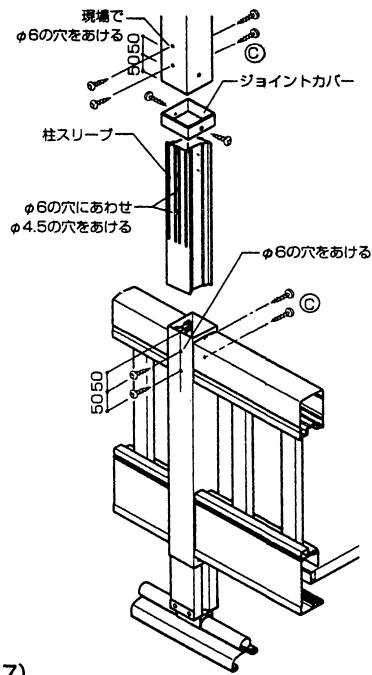
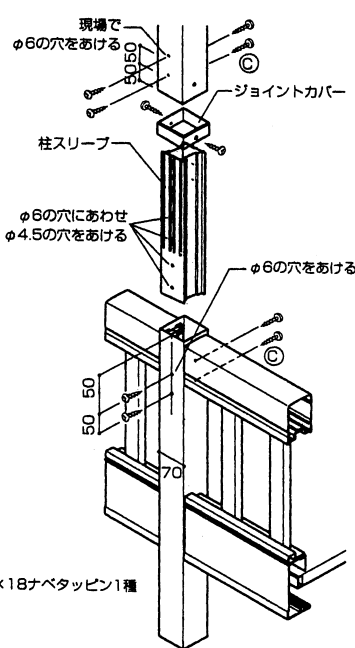


バルコニー連結の場合

- ①柱の切詰め加工
- 現場実測で寸法を出し、柱を切り詰めてください。
- ②前枠への取付け
- 屋根柱固定金物を使用し（図-16）の要領で取付けてください。
- ③バルコニーとの連結（図-17）の要領に従い、柱を連結してください。

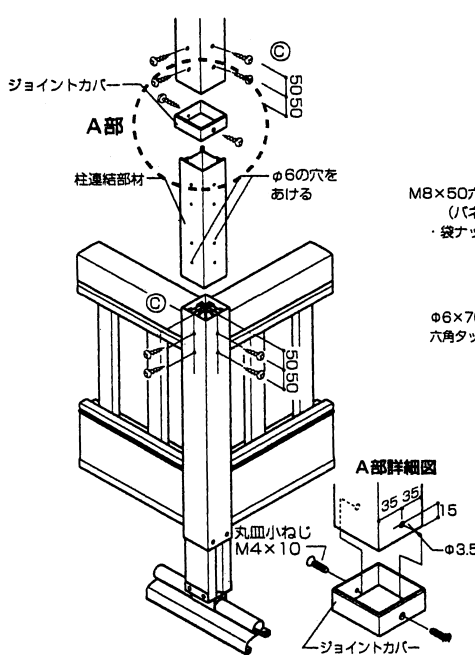


(図-16)

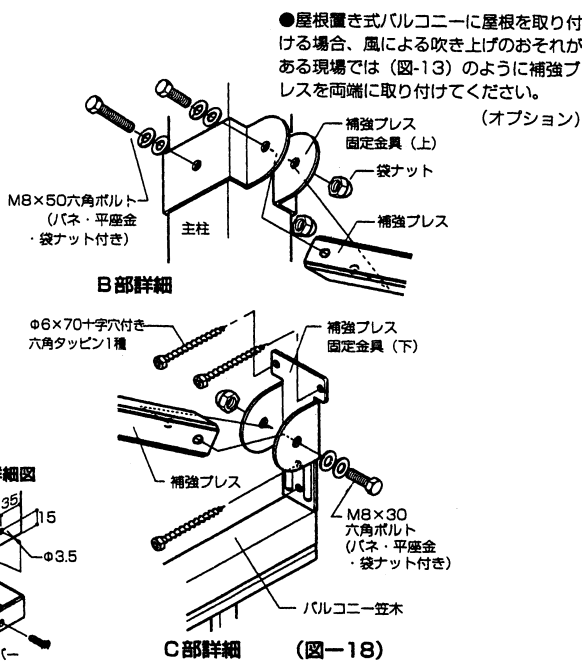


(図-17)

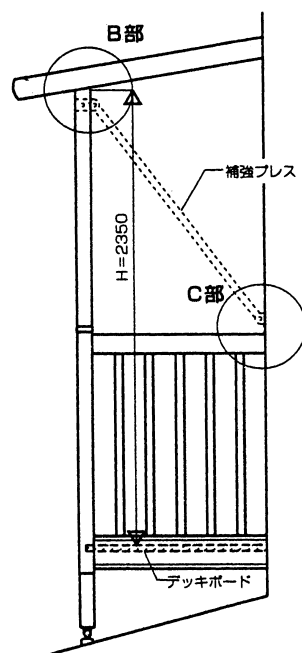
◎=φ5×18ナベタッピン1種



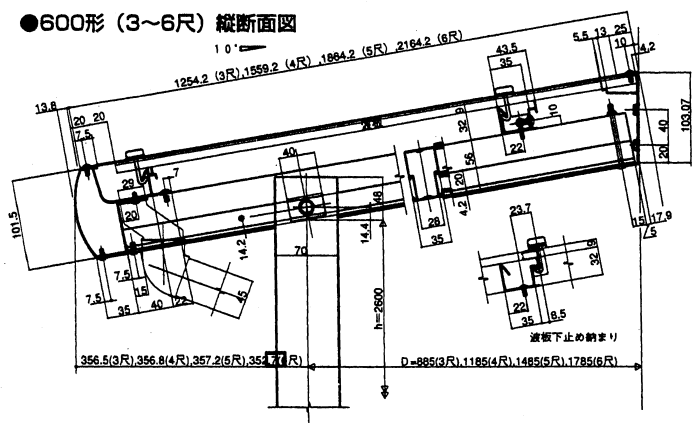
A部詳細図



(図-18)



●600形 (3~6尺) 縦断面図



一 波板下止め

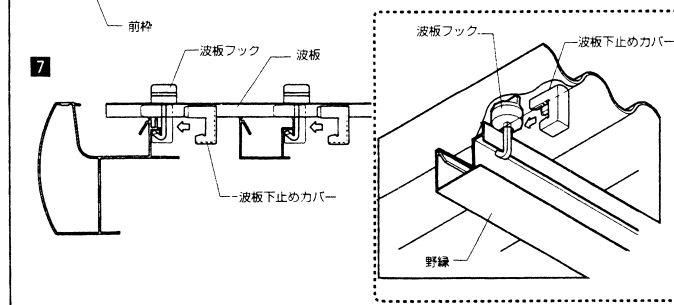
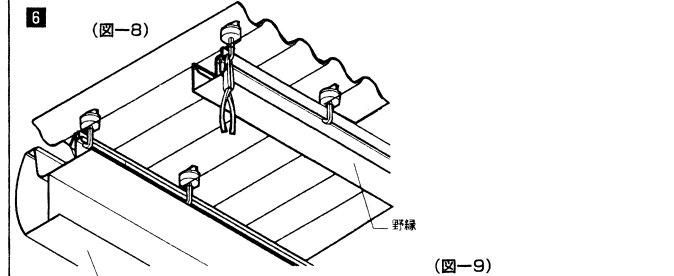
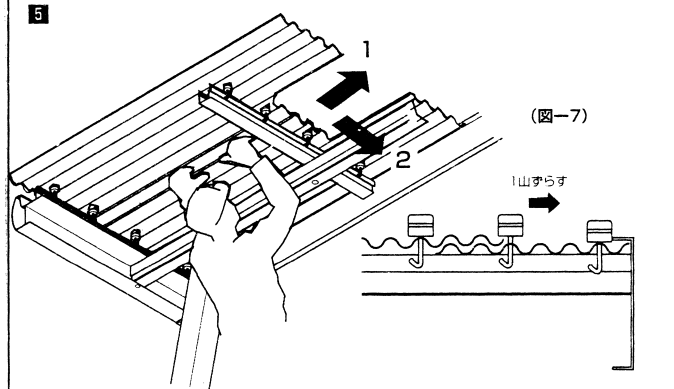
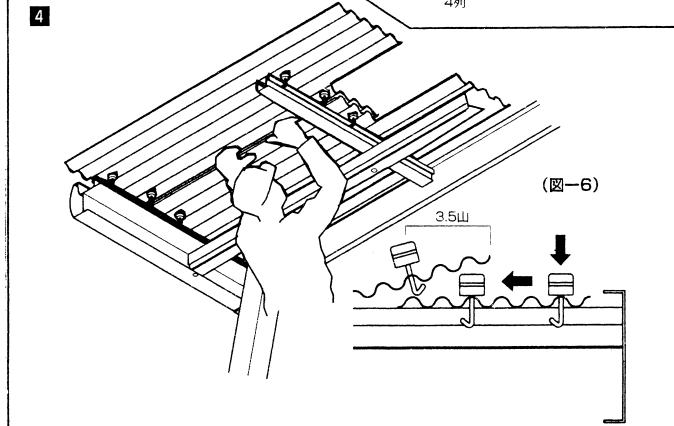
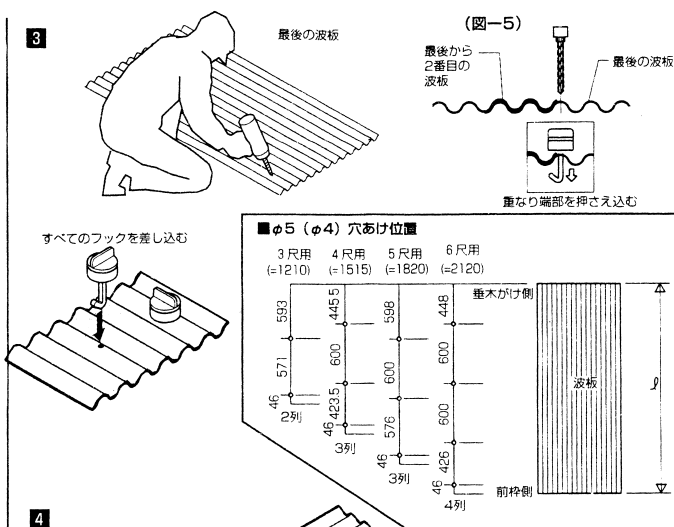
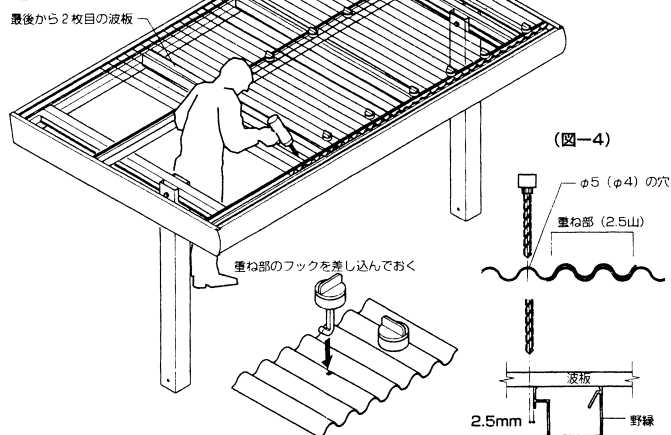
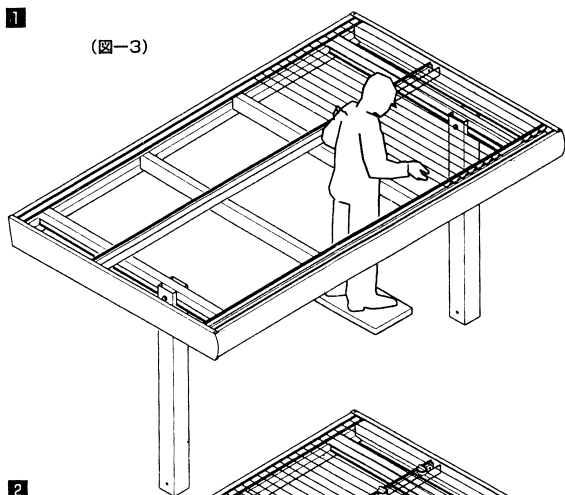
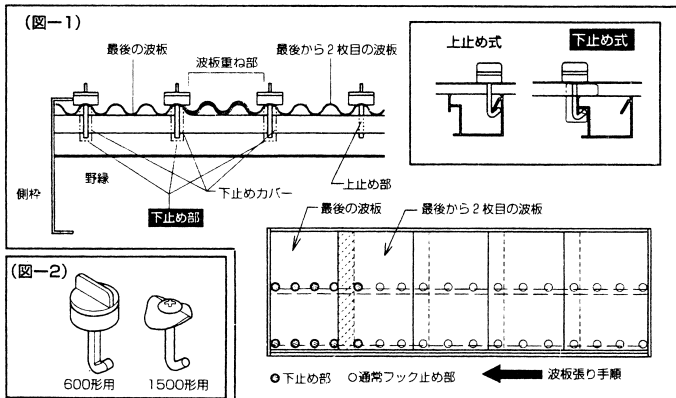
●この説明書は施工完了後、施主様へお渡しください。

■お願い

- 本説明書は、テラス波板の最後の1枚と2枚目の取付けを下止め式（下から固定する方法）で説明してあります。（図-1）
- 下止め式の場合、波板の重ね部は、波板フックで固定できません。そのため、下記の要領で重ね部の直近両端に波板フックを取り付けてください。
- 波板フックは600形用と1500形用がありますので使い分けてください。（図-2）

■施工手順

- ①テラス本体の組立て終了後、テラス波板をテラス端部より順次、上止め式（上から固定する方法）で取付けていきます。（図-3）
- ②最後から2枚目の波板は、（図-4）のように最後の波板との重ね部（2.5山）をよけた直近位置に下止め用のφ5の穴をあけ、波板フックを差し込んでおきます。（1500形の場合φ4）
※重ね部両端の穴位置は、上止め式による穴位置とは異なりますのでご注意ください。
※重ね部以外は上止め式で固定します。
- ③最後の波板は、下止め用のφ5の取付け穴をあけ、あらかじめ全ての波板フックを差し込んでおきます。（1500形の場合φ4）
※波板の重ね部は（図-5）のように（2.5山）をよけた直近位置にφ5の穴をあけ、波板フックを差し込んでおきます。波板フックは図のように最後から2枚目の波板端部を押さえ込むようになります。（1500形の場合φ4）
- ④最後の波板をテラス屋根にのせ、2枚目の下に3.5山分差し込みます。（図-6）
- ⑤最後の波板を（図-7）のように、まず垂木がけに押し込んだ後、側枠側に1山分移動させます。
- ⑥差し込んである波板フックをラジオペンチ等で引っ張り、野縁及び前枠に固定します。（図-8）
- ⑦最後にフックの軸部分に波板下止めカバーをはめ込みます。（図-9）



■φ5 (φ4) 穴あけ位置

3尺用 (=1210) 4尺用 (=1515) 5尺用 (=1820) 6尺用 (=2120)

